

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	中村圭介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 首里城再建に伴う首里のまちづくりについて 2 交通行政について	首里城の再建に伴い、首里のまちづくりが顧みられる機会となっている。首里城の再建は望むものの、観光地としての整備が優先されることに、危機感を抱くという声もある。そのような中、首里のまちづくり6団体が首里杜地区まちづくり団体連絡協議会を結成し、「50年後、どんな首里のまちにしたいですか?」をキーワードに、地域の意見を集め、県の首里城再建基本計画に地域住民の声を反映させるための活動を展開しているなど、まちづくりの機運が高まっている。 まちづくりは、施設やそこに至る道路の話だけではなく福祉や教育、防災や文化振興や商業等、幅広い範囲に及ぶものである。焼失した首里城の正殿等の再建においては、那覇市は県をサポートするという姿勢であるが、ことまちづくりにおいては、地域と共に汗をかく重要な役割が求められる。首里城再建の流れの中で、地域住民からは様々な提案が本市に出てくると考えられるが、そうした声に寄り添い、首里城の再建に伴う新たな首里のまちづくりを行う必要があると考える。対応を問う。 (1) LRTの導入に向けたおおまかなスケジュールを問う (2) LRT導入を見据えて、周辺市町村との連携も求められると考える。当局の見解を問う (3) LRTがモノレールや各種公共交通と連動し、誰もが移動しやすいまちを実現するためには、路線バスの路線網再編が欠かせないと考えます。再編に向けた本市の役割を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 指定管理者制度について	(4) モノレールとバスの連携強化のため、ＩＣカードを活用した一日乗車券や乗り継ぎ割引等の利便性向上の取組を強化すべきではないか。見解を問う (1) 指定管理者モニタリング総合評価の中で所管部長による総合評価が「可」となった児童館が 10 館中 4 館となっているが、共通する課題があるのではないかと見解を問う (2) 児童館の指定管理料について、施設間の差があることについて、当局の見解を問う (3) 指定管理者制度の導入メリットを高めるため、那覇市指定管理者制度に関する運用指針を改定し、余剰金について 2 分の 1 相当を市に収める規定を見直すべきではないかと見解を問う (4) 指定管理者制度を導入したことによる成果の確認をどのように行っているか問う
		4 沖縄の食の魅力発信拠点整備について	建て替え建設中の第一牧志公設市場に整備される、多目的スペースの活用について、利用を想定される市民、団体等への説明や意見聴取の機会を設けるべきではないかと見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和２年１２月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	大 山 孝 夫 (自 民 党)	1 消防行政について	那覇市指定管理者制度を導入している施設等の防火点検・防火（防災）訓練の状況について
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 拉致問題について	(1) 那覇市の北朝鮮人権侵害問題啓発週間の取組について (2) 那覇市立公立小中学校における教育について
		3 新型コロナ対策について	那覇市立小中学校の新型コロナ対策の状況について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和２年１２月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 首里城再建 と市制 100 周 年の連携につ いて	(1) 首里城跡をはじめ、5つのグスクと4つの関連する文化遺産が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されて20年。首里城の焼損をきっかけに、世界遺産としての普遍的価値の大きさを改めて認識し、琉球の文化と歴史、うちなーんちゅの誇りを再確認する機運が高まっている。焼損の首里城は、県民の粘り強い運動で1992年に本土復帰20周年記念で復元した。琉球王国の歴史と文化の象徴、戦災復興のシンボルとして蘇り、沖縄のアイデンティティの形成、伝統文化や芸能の保存継承、平和交流とアジア・世界との交易・万国津梁を推進する要として、県民のこころの拠り所となっている。そこで、屋良朝苗元知事の沖縄県師範学校での恩師で、大正、平成と首里城を救い、琉球文化・芸術の保存と復興に果たした染色家で沖縄文化研究家・鎌倉芳太郎氏（1898年－1983年）の功績を問う (2) 首里城には、沖縄の苦難の歩み、県民の熱い思いと英知、沖縄に魅せられた人々の思いと英知が繋がっている。その中でも、鎌倉芳太郎氏は、首里城と琉球文化・芸術の大恩人、たくさんの宝物を沖縄に遺している。大恩人・鎌倉芳太郎氏を敬うのが守礼の邦・沖縄の心。水を飲むときには、その井戸を掘ってくれた人を忘れない。「飲水思源」という中国のことわざがある。鎌倉芳太郎氏への恩義を決して忘れてはならない。そこで、首里城のある那覇市として、市制100周年記念の節目に、いまは亡き、鎌倉芳太郎氏の多大な功績をたたえ、那覇市名誉市民として顕彰を追贈すべきと考える。那覇市民と沖縄県民の感謝の心を示し、首里城再建へ熱い思いを寄せている人々への大きな激励のメッセージともなる。尚円王を輩出した伊是名村の出身、城間市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 郵便局との連携について	(1) 市民の安心・安全な暮らしをはじめ、本市の地域課題の解決に向けて、郵便局との連携した取組を問う (2) 日本郵便沖縄支社は、食品寄附箱を郵便局に設置し、市民から寄附された食品を子ども食堂などや生活困窮者などに配布する「フードドライブ」を自治体と協定を結んで実施している。市民から募る食品は米や乾麺、レトルト、缶詰、調味料などで ①未開封 ②賞味期限が1カ月以上残っている ③常温保存可能 ④製造者名記載 ⑤米は精米から1年以内—に当てはまるものとなっている。本市での郵便局と連携しての「フードドライブ」の実施について問う
		3 認知症対策について	(1) 本市の高齢者人口、高齢化率、前期高齢者・後期高齢者数と割合、認知症者数を問う (2) 認知症の人を家族を地域全体で支え、やさしいまちづくり、共生社会をめざす趣旨の条例の全国の策定状況と、認知症の人がトラブルや事故を起こした場合に、認知症保険を使った事故救済制度を導入した自治体の状況を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	市道鳥堀 12 号と県道 29 号線の首里高校石嶺球場側との交差点への信号設置と、県道 29 号線から市道鳥堀 12 号に向けた右折レーンの設置を問う
		5 本市の換地処分違法確定事件について	本市の法令遵守違反、法令解釈ミスで、30 年余、当事者に苦痛を与え続けてきた。9 月定例会で城間市長は、「本市の行政処分が違法という結果を重く受け止めまして、この換地処分につきましては長年是正を訴えてこられた当時者の方、そして御親族の方々に改めて心よりおわび申し上げます。本件の解決につきましては、誠意を持って対応し、早期に解決を図ってまいりたいと考えております。申し訳ありませんでした。」と真摯に答弁されている。議会への重要な市長答弁を受け、誠意を持って対応し、早期の解決を図るための取組を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和２年１２月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 投票について	投票への関心を高めるため、普段は入ることができない特別な場所、憧れの場所に投票箱を設置したドイツの取組について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 生理政策について	青森県が長年実施している、産婦人科校医配置制度について伺う
		3 医療福祉行政について	(1) がん治療に伴う不妊に備え、事前に卵子や精子を凍結保存する費用についての公的助成制度について伺う (2) 那覇市小児、妊婦インフルエンザ予防接種費用の助成について、一定期間の遡及を行うべきではないか伺う (3) 使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクルについて伺う
		4 消防行政について	通報時の動画や写真の活用、解体前建物での訓練の協力依頼など、職員数が定数を満たすのに時間を要する中で、こういった新たな取組による協働を進めるべきではないか伺う
		5 労働行政について	I L Oの「仕事の世界における暴力とハラスメント」を禁止するための条約の国内批准が進まないことについて那覇市の考えを伺う
		6 地域行政について	久茂地川について、那覇市が把握している地域の要望や活動について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 文化行政について	(1) 海浜の管理について、A Iカメラとライフガードの体制整備による連携で、より安全な海浜利用と、専門職の確立を提案するが那覇市の考えを伺う (2) 花いけバトルなど、新たな文化行事への那覇市の積極的な取組を提案するが、那覇市の考えを伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、選挙管理委員会委員長、関係部長

一般質問（４日目） 令和２年１２月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 子育て支援について	親による子どもの虐待を防ぐには、親の子育てに対する不安や孤立感を和らげてあげるのが大事であると思うが、それを目的とする本市の事業について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 教育行政について	親が病気がちである、あるいは心身に障害があるといった事情のため、子どもでありながら介護や家事、兄弟の世話などを担う「ヤングケアラー」について厚生労働省がそのような子供たちを支援しようと、早期発見し、対応するための研究を進めている。その実態の調査に取り組んでいる自治体もあるようだが、見解を伺う
		3 不登校について	(1) 本市の小中学校における不登校の現状と対策を伺う (2) 学校に登校しなくとも、一定の要件で出席扱いすることができるようになっているが、その要件を伺う
		4 介護問題について	一般社団法人「市民介護相談員なは」が本市の事業所の介護サービスの質の向上と高齢者の権利擁護の充実のため頑張っているが、どのような評価をしているか
		5 道路行政について	都市計画道路真和志線の道路拡幅工事の進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長